

秦野斎場の増築改修計画について

1 はじめに

秦野斎場の増築改修計画につきましては、平成 25 年 9 月から 10 月にかけて同斎場周辺 3 自治会の皆様を対象に説明会を開催し、「秦野斎場施設整備基本計画」(以下、「基本計画」という。)の概要を説明いたしました。

その後、火葬炉設備の事業予定者及び設計事業者が決定し、基本設計に取り組んできましたが、この度、現秦野斎場におきます増築及び既存建物の改修に係る基本設計案を作成いたしました。

2 基本設計案の概要

(1) 施設概要等

	現秦野斎場	増築改修後
所在地	秦野市曾屋 1006 番地	
都市計画	都市計画火葬場 (平成元年 3 月 7 日秦野市告示 106 号)	
用途地域	工業地域	工業地域・工業専用地域 (隣接地)
区域面積	秦野斎場敷地 5,191.27 m ² (借地を含めた都市計画決定による面積約 5,400 m ²)	約 5,900 m ² (法面保護及び、将来の駐車場用地とする隣接地(約 500 m ²)を含む)
延べ面積	1,035.09 m ² (火葬棟 400.38 m ² 、待合棟 495.35 m ²)	約 3,480 m ² (ひさし等約 440 m ² を含めた建築基準法による面積)
構造等	鉄筋コンクリート造、木造 他	増築棟は、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の混構造 2 階建て。 改修棟は、鉄筋コンクリート造平屋建てで、内外装を改修する。 現火葬棟は、増築棟の完成後に解体撤去。
火葬炉	ロストル式火葬炉 5 炉	台車式火葬炉 8 炉 (うち 1 炉は予備スペースとし、当面は 7 炉で運用)
待合室	5 室 (畳コーナーと椅子席)	8 室 (改修棟の待合室は、畳コーナーを椅子席に変更)
駐車場	普通乗用車 43 台	普通乗用車 39 台、マイクロバス 9 台の合計 48 台。(将来、普通乗用車 9 台、マイクロバス 2 台程度の増設が可能)
煙 突	地上高約 20 m	増築棟の屋根に排気筒を設置。地上高さは約 14m で屋根と一体の意匠とし、目立たないよう配慮。

(2) 平面計画等

ア 主な諸室

区分		諸室の内容
増築棟	1階	告別室4室 収骨室4室(トレー式収骨) 作業室4室 事務室 霊安室 運転手控室等
	2階	待合室4室(椅子席、給湯室付) キッズルーム 授乳室 売店
改修棟	1階	待合室4室(椅子席、給湯室付) 多目的会議室 授乳室

イ 平面計画の特徴

分かり易い各室の配置、エントランスホールの混雑の緩和、及び会葬者と斎場職員等サービス関連業者との動線の分離などを配慮しました。

改修棟の大人数使用の待合室以外は、複数の部屋を1室で利用でき、告別室と収骨室は、会葬者が多人数の場合に一体利用できるなど、状況に応じた弾力的な対応が可能となる工夫をしています。

ウ 主な諸室の屋内仕上げ

(ア) 1階のエントランスから告別室及び収骨室の床は石張り、壁及び天井は木調ルーバー(一部木製)及び左官材。収骨室は、床の一部を塩ビシート(柔らかい素材)仕上げとし、会葬者への更なる安全に配慮しました。

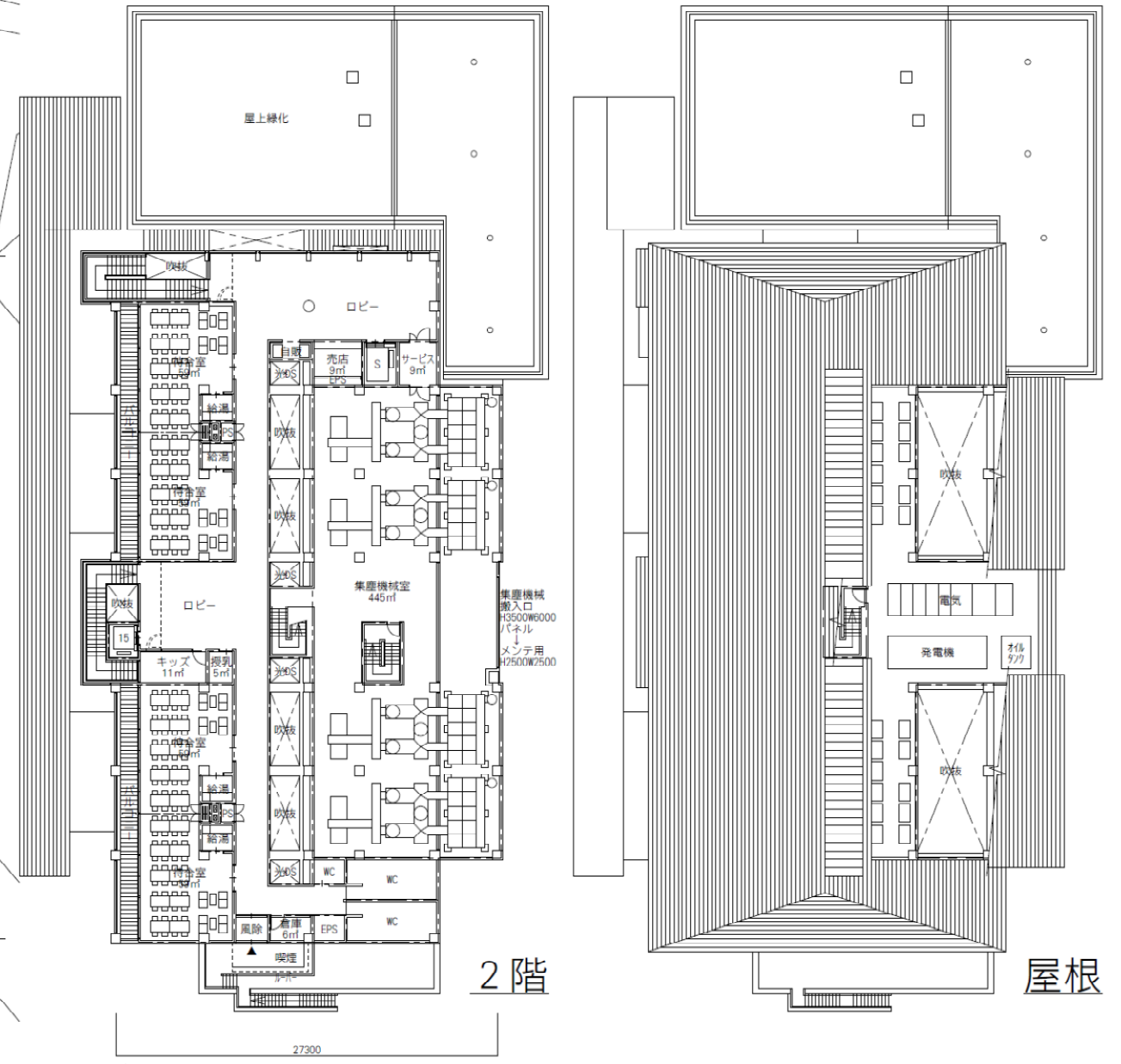
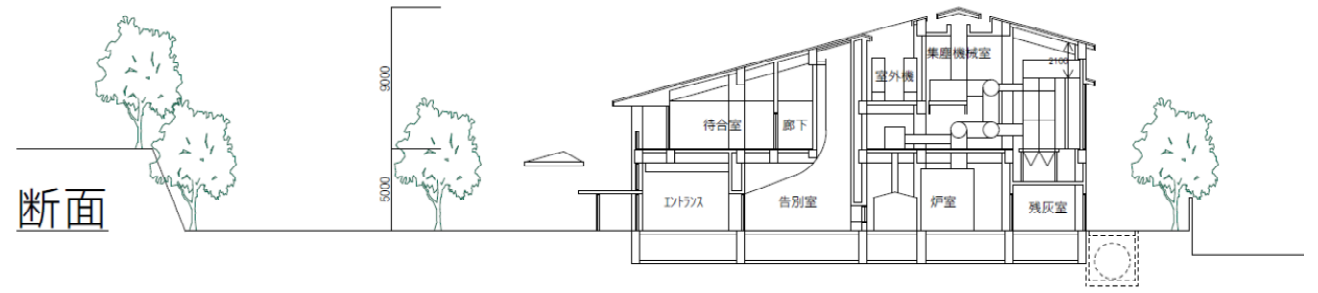
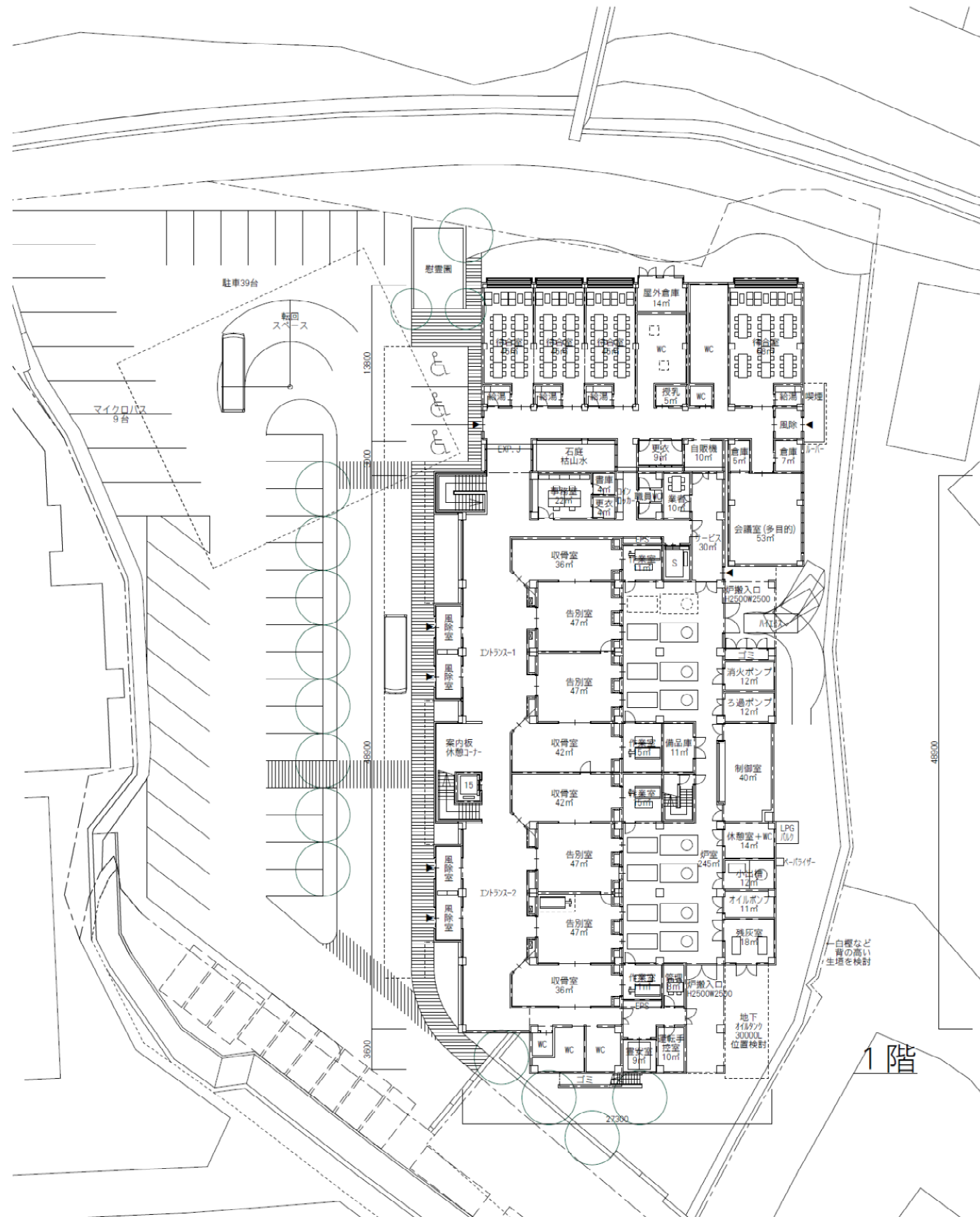
(イ) 1階及び2階待合室、2階北側のロビー並びに2階待合室前廊下の床はフローリング、壁はクロス、天井はクロス(一部木製)。

(ウ) 1階多目的会議室及び2階キッズルームの床はタイルカーペット。

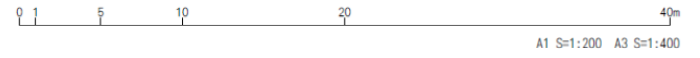
エ 配置計画図



オ 各階平面図



R階	15㎡	30㎡
2階	1145㎡	1170㎡
1階	1880㎡	2280㎡
合計	3040㎡	法床3480㎡



※ 駐車場車両転回部の点線は、既存火葬棟の位置を示しています。

(3) 屋内外デザイン

ア 外観デザイン

丹沢、大山の山並みに溶け込み、地域との一体感を表現した大屋根とし、屋根端部は周辺への圧迫感を低減した寄棟とします。壁は自然と調和したアースカラーとし、落ち着いた外観とします。

イ 屋内デザイン

施設外の自然と内部の空間を徐々につなぐデザインで、木、水、土を表現し、自然光を利用したデザインを採用します。

2階ロビーは、屋上緑化による植栽等で周辺住宅への視線をカットしながら、雄大な丹沢大山等の景観を取り込める屋内デザインとします。

ウ 外観パース

「山並みと呼応する大屋根を持つ、ふるさとの民家」のイメージ。



エ 屋内パース

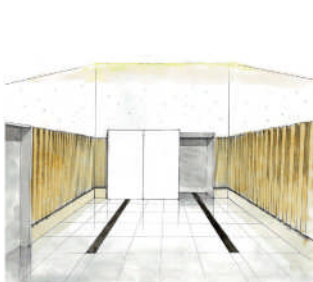
(ア) エントランス



(イ) 待合室



(ウ) 告別室



(エ) 収骨室



断面

断面

(4) 構造概要

ア 構造計画のコンセプト等

(ア) 安心安全な構造計画

標準建物の1.25倍の耐震性を確保（重要度係数1.25）。床、梁は、有害な「たわみ」や「振動」を抑え、雪や風の荷重に対しても余力を持った構造とします。

(イ) 無駄のない合理的な構造計画

地下ピットの床を基礎構造として活用、設備機器の配置に合わせた柱梁サイズの設定など合理的な設計とします。

(ウ) 地域に根付いた施設

長寿命化対応、周辺環境の維持に十分配慮した施工計画とします。

(5) 環境配慮計画・設備概要

自然エネルギー（光・風・熱・水）の有効利用を図り、災害時に火葬業務を継続できる施設とします。

ア 効果的な自然光の利用により照明電力の削減を図ります。

イ 卓越風（地域で最も吹きやすい風、風速平均 2.2m/s）を活かし、誘引効果による排気を検討します。

ウ 炉からの排熱、地中の冷気を有効利用し空調負荷の低減を図ります。

エ 便所洗浄水や屋外散水に雨水を利用します。（緊急時に活用できる貯水槽を地下ピットに設置）

オ 災害時の対応として、非常用発電機の設置及び火葬炉燃料の備蓄、停電時も運転可能なLPガスを燃料とした空調機、停電時を想定した水道直結方式及び給水本管破損時を想定した雨水貯水槽等による給水を計画します。

※ 以上の平面図、パース及び説明内容は、今後の検討により修正することがあります。

3 火葬炉設備について

(1) 火葬炉設備の概要

ア 火葬炉数7炉、将来にむけて1炉増設できるスペースを確保。

イ 排ガス処理設備は、火葬炉毎に設置する再燃焼炉及び2炉につき1基設置するバグフィルター。

(2) 排ガス処理について

基本計画で示した環境保全目標値に対応できる排ガス処理性能を持った火葬炉設備を導入します。

4 その他

(1) 解体工事

解体工事着手前に建物に使用した建材等に含まれるPCB、石綿及び燃焼によ

り生じたダイオキシン類の調査を実施し、石綿等の飛散防止策を講じた上で解体工事を実施します。

(2) 工事中の安全対策

現施設を運営しながらの工事となりますので、斎場利用者エリアと建設工事エリアとの分離等、安全な施工を進めるための仮設計画を策定します。

(3) 工事説明

施工業者が決定後、着工前に工事説明会を開催します。

(4) 駐車場

工事期間中、会葬者の駐車場を斎場周辺に確保します。

5 今後の予定

年度 事業内容等	H26	H27	H28	H29	H30	H31
調査・計画等						
環境調査等		D			D	
基本設計・ 実施設計		→				
地元説明		D	D			
工事予定						
第1期工事				増築棟 →	運用開始 →	
第2期工事			既存待合棟改修 既存火葬棟解体		→	
外構工事					→	
運用開始						→

平成30年度の増築棟の供用開始及び平成31年度の全面供用開始を目指して進めてまいります。

この件についての問い合わせ先は、以下のとおりです。
 秦野市伊勢原市環境衛生組合 施設課 (担当: 濱・吉野)
 〒257-0031 秦野市曾屋4624番地
 電話番号 0463-82-2502 FAX 番号 0463-83-5933